２００７年(平成１９年)５月２０日(日曜日)

東愛知新聞・東日新聞　朝刊掲載

東愛知新聞

園児と野菜の種まき

豊橋創造大短大部の学生　「食農教育」で実施

トウモロコシの種を植える学生と園児＝豊橋市牛川町の畑で

たくさん収穫できますように―。豊橋創造大学短期大学部のキャリアプランニング科と幼児教育保育科の2年生26人と明照保育園の年長園児53人が19日、同市牛川町の畑でトウモロコシの種まきや野菜の栽培にチャレンジした。

同短大は、昨年から3年間、文部科学省が支援する「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に選ばれた。そこで4つのテーマで構成する教育プログラム「食をテーマにした地域活性化」に取り組んでいる。種まきは、テーマの一環である「食農教育」として行った。

はじめに同短大の学生3人が、トウモロコシの生育過程や種まきの方法などをパネルにイラストを書いて園児たちに分かるように説明した。

種まきでは、4人一組になって畑の畝（うね）の前に一列に並んだあと、スコップで穴を掘り、「おいしいトウモロコシが育ちますように」と願いを込めて大切に土をかぶせた。そのほかゴーヤとナスの苗を定植した。

今後は6月に畑を手入れして8月に収穫したあと、親子料理教室の食材に使う予定。

（天野武宏）

東日新聞

TONICHI NEWS

豊橋創造大短大「サタデースクール」

学生と園児が楽しく野菜作り

園児とともに苗植えなどを行う学生

豊橋創造大学短期大学部（後藤圭司学長）の「食をテーマとした地域活性化」の一環として行っている「サタデースクール」の第1回活動は19日、同短期大学部学生と同大学の地元の明照保育園の園児が参加し、牛川町瀬ノ上のほ場で行われた。

この日はトウモロコシの種まきやゴーヤ、ナスなどの苗植えを行った。

文科省の選定する「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択された同短期大学部が、食農教育活動として今年度最初の事業となっており、短期大学部からはキャリアプランニング科2年生と幼児教育・保育科1年生の合わせて26人、同保育園から年長組53人が参加した。

学生は、園児グループに土の掘り方や苗の植え方などを教えながら作業は進んだ。さわやかな風が吹き抜ける中、園児は楽しそうに種をまき、苗に土をかぶせた。また学生はボードなどを使ってゴーヤの説明を行い、園児との接し方も学んだ。

幼児教育・保育科1年の高橋理恵さんは「子どもたちはとても素直でした。私たちは種まきなどの経験があるので何とかなりました」と笑顔を見せた。また、木村和夫同短期大学副学長は「学生も全般的に土いじりなどの経験が少なく、このような機会はとてもいいこと」と目を細めながら学生と園児の作業を見守った。

今後同スクールは6月中旬に手入れや観察を行い、8月上旬に収穫する。

現代GP「平成１９年度　第１回サタデースクール～種まき・苗植え～」

平成19年5月19日（土）実施